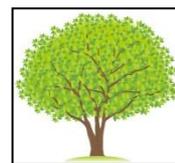


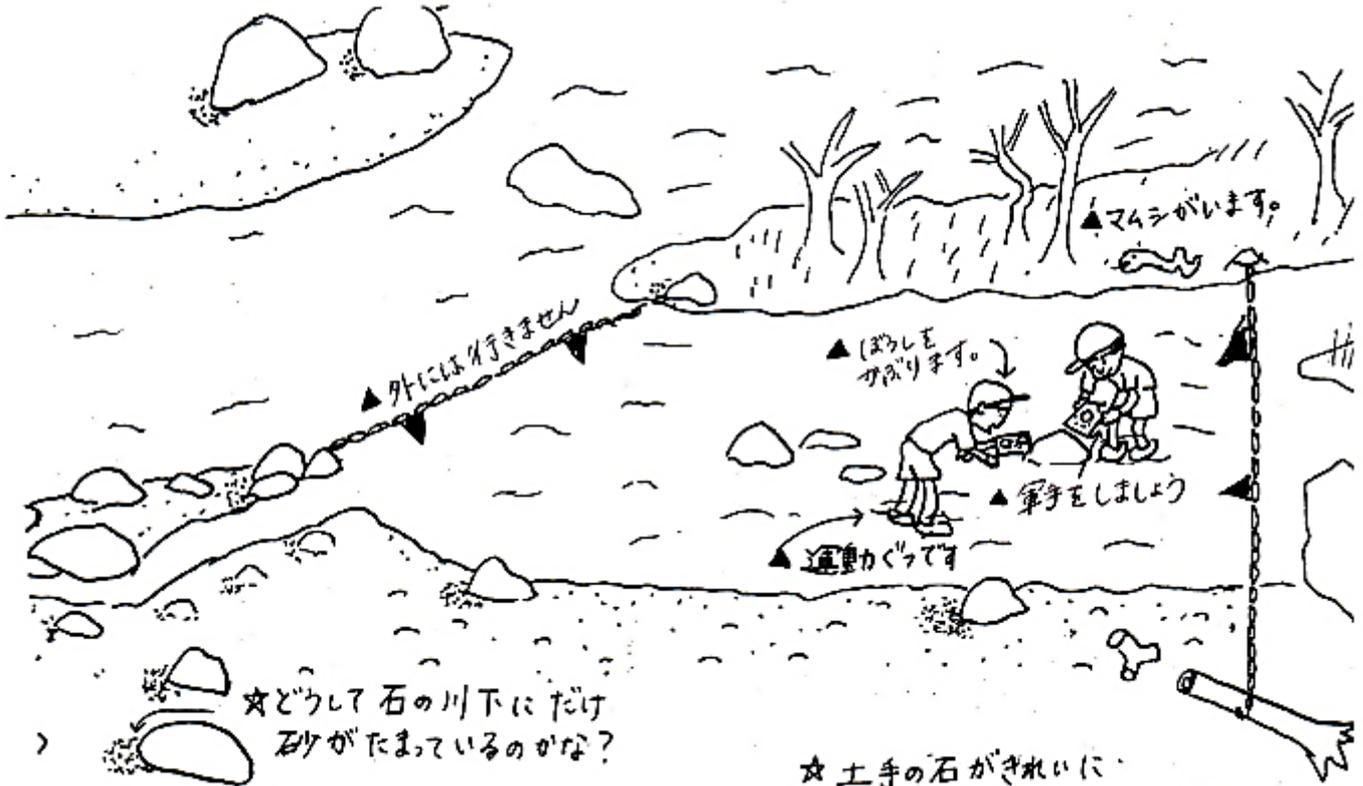
流れる水のはたらき



活動場所	安曇川	自然の家に あるもの	箱、網、図鑑、下敷き、無線機
所要時間	約1～1.5時間	利用者で 用意するもの	着替え、バスタオル
人数	100名程度	活動時の服装	水着（必要な場合のみ）、濡れてもよい靴 またはウォーターシューズ、帽子

自然の家の前に流れる安曇川は琵琶湖までそそいでいます。子ども達に水の流れを観察させたり、流れる水の力を体感させたりすることができるプログラムです。また、小学4年生の理科「雨水の行方と地面の様子」、5年生の理科「流れる水のはたらきと土地の変化」ともリンクした学びが可能です。

流れる水のはたらき



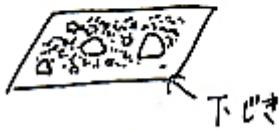
☆どうして石の川下にだけ砂がたまっているのかな？

☆土手の石がきれいに
ならんでいるのはなぜだろう？

☆川の水がふえた時の高さほど低くあったかな？

- ① 下じきに砂や小石など
色々な大きさの石を
のせよう。

- ② 川の中にある大きな石を見つけ
石の川上と川下に下じきを5秒間つけておけ！



とくに大切なこと

- ① 石のかげや草原にはマムシがいるかもしれません。見つけても近づかないで先生につたえましょう。
- ② 石はなげません。
- ③ 川にはドボンと入るとすべります。すり足でゆっくり入り、ひざより深い所には行きません。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
<ul style="list-style-type: none">・ 水は高いところから低い場所へ流れて集まることがわかる。・ 流れる水による侵食、運搬、堆積について実験を通してわかる。また、川の上流と下流、増水による土地の様子の変化について観察し、理解することができる。	理科	4年「雨水の行方と地面の様子」 5年「流れる水のはたらきと土地の変化」
<ul style="list-style-type: none">・ 安曇川の流れや、流れのはたらきを知ること、川の地形や大地のつくりについて興味をもち探究することができる。また、地形が変わることに着目し、防災の観点も視野に入れた探究ができる。	総合的な学習	「環境」 「防災」

2. ポイント

ア) 活動前

- ・ 入浴を早めにされる場合は事前に申し出ること。なお、その場合は着替えをお風呂場に準備しておくことスムーズに進めることができる。
- ・ 当日は天気、水の濁り、水量、勢い、水温、気温で川に入ってよいか判断する。
- ・ 指導者の立ち位置を決めておくこと。川の中に入る担当もあるので準備しておく。
- ・ 濡れてもよい靴かウォーターシューズを用意する。つま先やかかとの出るサンダルやクロックスは禁止。

イ) 活動中

- ・ 子どもの様子をしっかりと把握しておく。また、適時人数を確認すること。また、水分補給や休憩の時間も取る。
- ・ ロープで囲まれた範囲内だけで活動させること。

ウ) 活動後

- ・ 濡れた靴や服は所内の乾燥室で乾かすことも可能。

3. 安全対策について

--